稲積中だより

たくましい心身　豊かな心　高い知性　健全な社会性

令和８年11月27日
全国学調・特別号
札幌市立稲積中学校　発行
http://www.inazumi-j.sapporo-c.ed.jp



＜令和8年度　全国学力･学習状況調査結果＞

４月に３学年を対象に行った全国学力・学習状況調査の結果を、全国平均と比較し、明らかになった本校の傾向をお知らせします。

【学力調査結果】

中学校国語

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【内容】 □「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ・全国平均に比べ、上回っている。 □「情報の扱い方に関する事項」 ・全国平均に比べ、上回っている。 □「話すこと・聞くこと」 ・全国平均とほぼ同程度である。 □「書くこと」 ・全国平均に比べ、やや上回っている。 □「読むこと」 ・全国平均に比べ、上回っている。	●文章に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うこと。 ●情報と情報との関係を様々な表し方を理解して使うこと。 ●必要に応じて質問しながら話の内容を捉えること。 ●表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、良い点や改善点を見いだすこと。 ●目的に応じて必要な情報に着手し、内容を解釈すること。	○話し手の目的や状況を意識した上で、話し手が伝えたいことを確かめたり、分からない事や知りたい情報に合わせて効果的に質問したりする学習活動の充実を図る。 ○説明や具体例、物事の描写の仕方、表現の技法、語句の用法などの表現の工夫に着目し、書き手の目的や意図を踏まえてその効果を検討したり、より効果のある書き方を考えたりする学習活動の充を図る。 ○目的を明確にした上で要約するとともに、それが目的に沿っているのかを考え、必要な情報を正確に捉えて要約する学習活動の充実を図る。

中学校数学

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【領域】 □「数と式」 ・全国平均に比べ、上回っている。 □「図形」 ・全国平均に比べ、上回っている。 □「関数」 ・全国平均に比べ、上回っている。 □「データの活用」 ・全国平均に比べ、上回っている。	●同類項の意味を理解すること。 ●具体的な事象を基に、証明する事柄の仮定を見いだすこと。 ●累進度の意味を理解すること。 ●箱ひげ図と四分位数の対応について理解する。	○多項式の各項を係数や文字の種類、次数などに着目して分類したり、文字の種類や次数が異なる文字の項同士がまとめられない理由を考えたりする学習活動の充実を図る。 ○与えられた条件に基づいて実際に作図等の操作等を行ったうえで、編や書くの関係を見いだす場面において、行った操作を振り返りながら直接分かることや証明すべき事柄を整理し、数学的に表現する学習活動の充実を図る。 ○具体的な事象を示した複数の箱ひげ図から四分位数などの値を読み取ることで、データの分布に着目する学習活動の充実を図る。

	今回の調査における課題	改善の方向
中学校英語	【領域】 □「聞くこと」 ●音声や語彙、表現、文法、言葉の働きなどの知識を、聞くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につけること。 □「読むこと」 ●日常的な話題に関する内容を読み、短い文章の概要を捉えること。 □「話すこと」[やり取り] ●言語の働きなどの知識を、話すことによる実際のコミュニケーションにおいて活用すること。 □「話すこと」[発表] ●社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話すこと。 □「書くこと」 ●音声や語彙、表現、文法、言葉の働きなどの知識を、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技術を身につけること。	○複数の情報を含むまとまりのある内容を読み、目的や場面、状況に応じて必要な情報を読み取ったり、自分の置かれた状況などから何が自分にとって必要な情報であるのかを判断した上で、読み取ったりする学習活動の充実を図る。 ○コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを意識して活動を行い、英語の発音や語彙、表現、文法の知識を話すことにおける実際のコミュニケーションにおいて活用する学習活動の充実や、当該言語教材について理解したり練習したりする為の指導の充実を図る。 ○社会的な話題に関して聞いて分かった情報を活用し、既習の表現などを駆使しながら、自分自身の考えや気持ちを理由などとともに、聞き手に話して伝える学習活動の充実を図る。 ○説明文等のまとまりのある文章を読み、筆者の主張を捉えた上で、その内容に関する賛否や自分の意見、理由や根拠の関係を明確にしながら内容を整理して書く学習活動の充実を図る。

【質問紙調査】

全国と比較して、肯定的な回答の多いもの

□毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。
□先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。
□人が困っているときは、進んで助けていますか。
□人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
□自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。
□あなたの学校では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか。
□学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを認めたり新たな考え方に気づいたりすることができていますか。
□授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか。
□授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。
□学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。
□困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。

＜昨年度より全国と比較して高くなった項目＞

■分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。
■あなたが自分がＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができると思いますか。
■学級活動における学級での話合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。
■道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。

全国と比較して、肯定的な回答の少ないもの

□朝食を毎日食べていますか。
□毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。
□自分には、良いところがあると思いますか。
□将来の夢や目標を持っていますか。
□友達関係に満足していますか。
□あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。
□地域や社会をよくするために、何かしてみたいと思いますか。

＜全国と比較して肯定的な回答が少なくなった項目＞

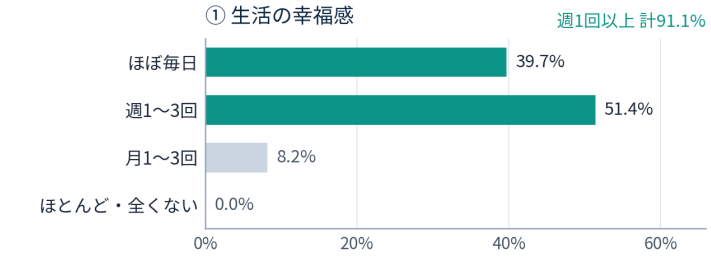
■学校に行くのは楽しいと思いますか。
■先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。

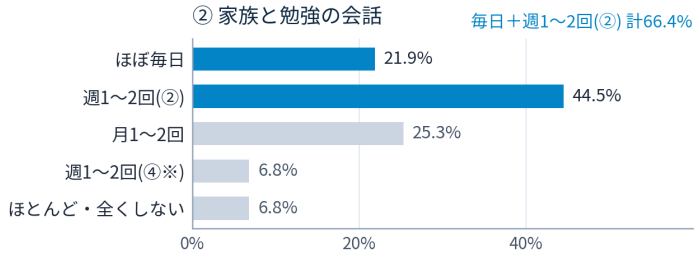
全国学力・学習状況調査②（2026） 本校結果

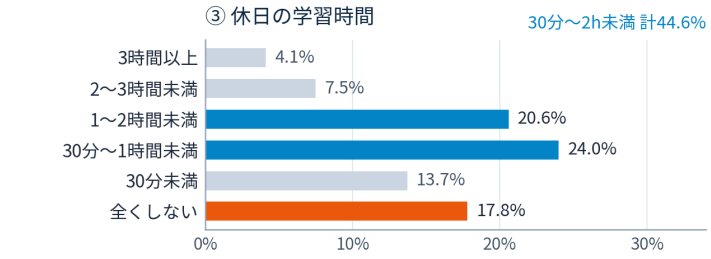
生活実態・学習習慣アンケート全7項目の分布と傾向

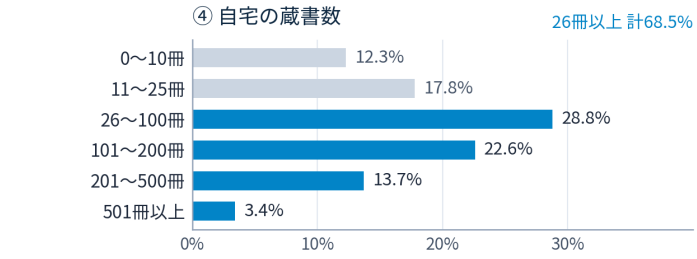
生活の幸福感	家庭の学び環境	平日SNS・動画	活字・読書習慣
91.1%	66.4% / 68.5%	61.0%	43.2% / 88.4%
週1回以上（ない 0.0%）	勉強会話②以上 / 蔵書26冊以上	3時間以上（4時間以上 33.6%）	平日読書0分 / 新聞ほぼ読まない

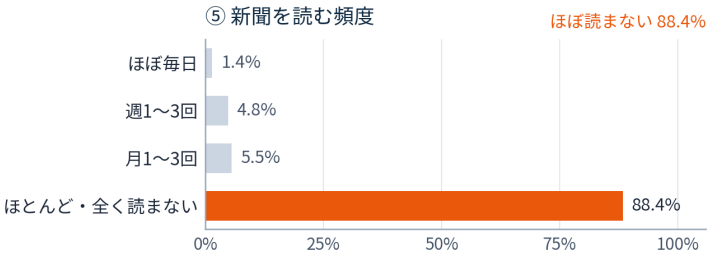
全7項目 回答分布・時間帯比較（単位：%）

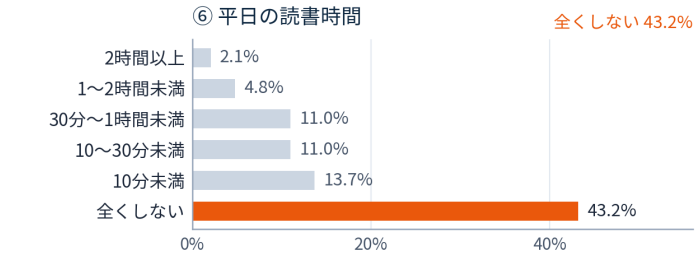


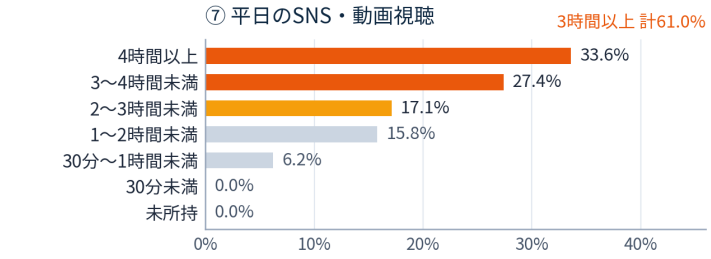


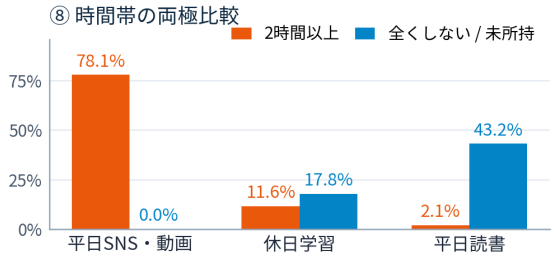












まとめ

● 強み
良好な情緒と家庭環境

普段「幸せな気持ちになる」が週1回以上 91.1%（「ほとんど・全くない」0.0%）。

家族との勉強会話（毎日＋週1〜2回②）66.4%、蔵書26冊以上 68.5%と土台が充実。

● 課題
デジタル偏重と活字離れ

平日SNS・動画「2時間以上」が 78.1%（3時間以上 61.0%）に達する一方、
平日読書「全くしない」43.2%、新聞非読 88.4%、休日学習「全くしない」17.8%。

● 方針
今後の学校での活用

今回の調査結果を受け、主体的・対話的で深い学びの実現に向け、
本校の「『学ぶ力』育成プログラム」等に活かしてまいります。

※注記：②は原資料で②・④とも「週に1〜2回」表記（計105.3%）。他設問も端数処理等で計100%にならない場合があります。③は塾・ネット学習含む、⑥は電子書籍含む、⑦は学習・ゲーム除く。⑧「2時間以上」は該当選択肢の合算値（平日読書「2時間以上」は①の2.1%）。